## 島根県医療マネジメント 学会に出席して

算定:病歷係 杉本 憲司



9月24日に江津市総合市民センターで開催された 島根県医療マネジメント学会において、「未収金の現 状と対策|というタイトルでポスター発表をさせて いただきました。

[未収金]とは「患者さんから支払を受けていない 医療費 をいいます。学校給食費の未収問題は大きく マスコミ報道されている通りですが、同様の問題が 日本全国の医療機関の医療費についても発生してい

その総額は国内合計で1.000億円に達しており、 赤字が多く苦しい台所事情である全国各地の医療機 関をさらに圧迫しています。当院も例外ではなく、平 成26年末時点で看過できない額の未収金が計上され ていました。このため、院内事務職で未収金対策チー ムを結成し、未収金予防・回収に取り組むこととなり ました。この度の発表はこの取組の経過と今後の展 望についてのものです。(発表の概要については下記 に記載の通りです。)

## 【未収金発生要因】

未収金が発生してしまう主な要因は次の2つです。

- ①生活の困窮により支払いたくても支払 ができない。
- ②支払いは出来るが意図的に支払わない。 (一部の患者さんのモラルの低下)

## 【取組事例】

①の患者さんについては可能な限り早い段階で面 談を行い支払計画を立て、生活保護の申請を検討す べき事案は院内医療ソーシャルワーカー等に協力を 仰ぐことにより未収金発生防止に努めることとしま した。 また、②の患者さんについては文書及び電話 督促の強化、そして自宅への出張督促の実施等によ り回収額のアップを図りました。

## 【成果と今後の展望】

これらの取組によって一定の成果は出ましたが、 当初の目標額には遠く及びませんでした。よって、悪 質と判断した事案については、債権回収に強い弁護 士事務所への回収依頼・債権譲渡を開始しました。こ れについては開始したばかりのため現時点での効果 は未知数ですが、専門家がビジネスに徹して行うた め高い効果が期待できます。

安定した医療供給には安定した病院経営が不可欠 です。浜田医療センターの健全な運営に少しでも寄 与できるよう、今後も未収金の発生予防・回収に力を 注いでいきたいと考えています。



